

広島県中小企業団体中央会 2016年11月分情報連絡一覧表

食料品

●食料品

中国醤油醸造協同組合

11月の出荷量は前月比16.5%増加、前年同月比64.1%増加、売上高は前月比15.8%増加、前年同月比50.0%増加となった。

木材・木製品

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

平成28年10月の全国の住宅着工戸数は87,707戸で、前年同月比では13.7%増加、また、季節調整済年率換算値では98.3万戸（前月比0.1%減少）となった。利用関係別では、持家は26,046戸で前年同月比4.9%増加、貸家は39,950戸で前年同月比22.0%増加、分譲住宅は21,050戸で前年同月比11.7%増加となった。なお、木造住宅の着工数は50,929戸で、前年同月比15.9%増加となった。

住宅着工の動向は、前年同月比で4ヶ月連続の増加となったが、引き続き、今後の動向をしっかりと注視する必要がある。

こうした全国の動きに対し、広島県内の10月の着工戸数は1,454戸で前年同月比8.7%の減少、このうち、持家は502戸で前年同月比5.0%の増加、貸家は736戸で前年同月比46.6%増加、分譲は215戸で前年同月比64.3%の減少となった。県全体の住宅着工の動向は、前年同月比で4ヶ月振りの減少となったが、地域別では、広島市は着工戸数675戸で15.1%減少、呉市が45戸で2.2%減少となった一方で、福山市は337戸で51.8%増加、東広島市は116戸で26.1%増加、廿日市市は56戸で60.0%増加と地域間でばらつきが見られる。また、依然好調なプレカット部門に対し、低調な製材部門など、会員、業態によって売上や収益等に好不調の差があるとの聞き取り結果となっており、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

印刷

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

最近は、吸収合併などで組合員数が減少している。厳しい景況である。

化学・ゴム

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

日銀による景況感はやや好況と発表され、有効求人倍率も高いが、現場はあまり好調とは思えない。特に国内における自動車販売及び生産台数は、微減を続けており、製品価格も非常に厳しくなっている。

また、アメリカ大統領にトランプ氏が就任し、その政策が日本経済に影響を及ぼす可能性も高く、為替も乱高下しそうであり、今後2017年度の経済状況に対しては、大きな不安を感じている。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

売上は、自動車関連企業を中心に、やや良好である。全体的には、各社横ばいの傾向である。

窯業・土石製品

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

28年11月 3,216^m (対前年2.19%増加)

28年10月 3,345^m

27年11月 3,147^m

鉄鋼・金属製品

●鉄鋼業

軀鉄鋼協同組合連合会

原料炭価格が高騰し続けており、為替も円安に振れているため、コークスを使用している鉄鋼2次製品会社では、今後影響が出てくると思われる。

一般機器

●一般機械器具

協同組合三菱広島協力会

広島県西部地区において、航空機関係は高操業である。それに伴い、航空機組立ての請負協力会社各社も高操業の状況にある。タービン・コンプレッサ、製鉄機械、ゴムタイヤ機械等の製品機種については、低操業のため、それに携わる協力会社各社も低操業の状況にある。

広島県東部機械金属工業協同組合

今月は前年度の売上が悪かったため、前月比2%増加、前年同月比30%増加となった。

電気機器

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は前月比3%増加、前年同月比変化なしとなった。年末需要により、増産傾向にある。輸出物件が多少動いている。国内はスマートメーター以外は横ばい傾向にある。

今年も最低賃金が20円も上昇し、経営を圧迫している。取引先に価格交渉をしているが、厳しい状況である。また、残業規制が厳しくなれば大いに経営を圧迫する。雇用問題、賃金問題、残業規制など中小企業にとっては厳しい問題が多い。オリンピック需要があまり動いていない。

輸送用機器

●輸送用機械器具（自動車）

東友会協同組合

11月の国内自動車販売台数は全需が418千台、前年同月比7.4%増加と3ヶ月振りの前年超えとなった。登録車は前年比13.9%増加と4ヶ月連続の前年超え、軽自動車は3.0%減少と23ヶ月連続の前年割れとなった。

マツダ車は1.4%増加と14ヶ月振りの前年超えとなった。

アメリカの10月の全需は1,372千台で前年同月比5.7%減少と3ヶ月連続の前年割れ。マツダ車は同10.8%減少と3ヶ月連続の前年割れとなった。

欧州の10月の全需は1,323千台で、前年同月比0.7%増加と3ヶ月連続の前年超えとなった。マツダ車は同6.1%減少と3ヶ月連続の前年割れとなった。

中国の10月の全需は2,299千台で、前年同月比3.5%増加。マツダ車は40.1%増加と5ヶ月連続の前年超えとなった。

上記各地域の状況下、マツダ車の10月の海外販売合計台数は109千台、前年同月比0.8%増加と7ヶ月連続の前年超えとなった。

マツダの10月の輸出動向については、輸出台数は前年比6.2%増加と2ヶ月振りの前年超えとなった。

マツダの10月の国内生産台数は、前年同月比8.2%減少と2ヶ月振りの前年割れとなった。

輸送用機械器具（造船）

●（社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

輸送用機械器具（造船）

●中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の平成28年11月の船舶建造許可実績は5隻256,600総トン（前月9隻754,550総トン、前年同月3隻60,900総トン）であった。なお、このうち3隻が貨物船で2隻が油槽船となっており、全て輸出船となっている。

輸送用機械器具（造船関連団地）

●呉鉄工業団地協同組合

原材料の高騰により、収益性が悪化している。

その他

●家具・装備品

広島家具工業協同組合

市況の厳しさに変わりはない。

11月は東京で複数の見本市が開催され、組合員が参加し、来場者数は多かったようであるが、実販売にはなかなか繋がらないようである。

卸売業

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

米大統領選挙以降、円安・株高となり、大手製造業者は安堵している。一方で、原油相場上昇によるガソリン価格の動向が気になるところである。生活雑貨、食品、繊維等の業種は少子化による消費低迷が懸念材料となっている。

「資材関連」においては、住宅着工件数が堅調に推移しており、業績は概ね安定して推移している。

「食品」においては、外食向けは、対前年比マイナスで推移。

「繊維」においては、寒い日が続くこともあり、秋冬物衣料の売れ行きが上向いている。

「雑貨」においては、生活雑貨の売上は、前年割れ。昨年の爆買いは一時的なもので、消費低迷・デフレ気味から景況感はよくない。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

当月も住宅着工は順調に推移している。非住宅は官公庁案件が増加傾向で、民間案件は減少傾向にある。

●卸売業（家具）

リビズ株式会社

12月に1店舗、新規オープン予定である。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

国内い草の主産地である熊本県八代では、い草の植付け時期で、多忙である。12月初旬には植付けも完了予定である。植付け面積は昨年度より20～30ha程度減少するものとみている。

現在の畳表価格は高値横ばいで推移、9月以降は緩やかに上昇し11月は平均300円程度上昇している。

広島県の「びんご特選」は価格横ばいで推移。また、い草の植付けは既に完了している。

中国産地では、11月が植付けの最盛期で、植付け面積は日本の消費行動を見据え減反政策をとりながらの植付けで、い草の生産・製織工場も減少傾向にあるのが実態である。畳表の価格は横ばいで推移している。

小売業

●各種商品小売業

チェーンリップチェーン商業協同組合（チェーンストア）

11月の売上は、前月比減少となったが、前年比は大幅な増加となった。これは、青果物の相場高によるものである。

9月、10月の日照不足により、11月の青果物の相場は過去に例がないほど高騰した。（11月の青果物の季節指数は年間で最低となった）それに加え、売上確保のため、入札制度施設の入札に積極的に参加したことが売上増の要因である。しかし、期中の相場高により、収益は悪化している。

協同組合三次ショッピングセンター

商圏内へのドラッグストアの進出により、各店舗の売上が大幅に減少している。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

11月度の販売実績は前年同月比4.4%減少となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比2.1%減少、BDレコーダー同1.4%減少、音響・車載機器同8.1%減少、冷蔵庫同2.5%減少、洗濯機同4.1%増加、エアコン同10.4%増加、エコキュート同8.5%減少、IHクッキングヒーター同2.4%増加となった。

11月に入り、家電メーカーごとの合同展示即売会が開催され、実売が徐々に戻りつつある。

商店街

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

11月1日に開設した障害福祉サービス事業所「青虫の会」が組合に加入された。

サービス業

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比6.7%減少、前年同月比1.9%増加。車検場収入は前月比6.1%減少、前年同月比2.7%増加。重量税・登録印紙の売上は前月比6.6%減少、前年同月比1.9%の減少となっている。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

前月に引き続き、全体的に低調である。

建設業

●工事業

神辺建設業協同組合

公共事業を中心に、年度末工期に向けた案件が増え、受注者は配置技術者や職人の確保に追われている。一方で、売上が増加傾向にあるわりに依然利幅が少なく、中小企業の経営改善には繋がっていない。

広島県室内装飾事業協同組合

売上は、前月比16.5%減少、前年同月比34.2%減少となった。累計では1.1%減少となった。大型商業施設の増築やリニューアル等が続いており、内装関係の仕事も増えているが、販売価格

は厳しい要請が続いている。

福山地区電気工事業協同組合

今月の工事受注件数は、前年同月比141.6%増加、前月比93.9%増加となった。

運輸業

●道路貨物運送業

広島輸送ターミナル協同組合

原油先物価格が上昇しており、今後燃料価格も値上げの動きが予想される。収益に与える影響が大きいため、注視する必要がある。

松永地区トラック事業協同組合

一般貨物に関して、前年同月比、前月比共に売上高、収益状況共に大きな変化はなかった。建設、土木関係の業種は多忙であると言われており、土砂や砂利を輸送しているダンプ関係は前年同月比、前月比共に売上高は増加しているようである。

ドライバーの雇用状況について、ハローワーク等での求職は皆無の状況で、かろうじて縁故や紹介等での雇用がある状況である。

OPECの会議で原油価格上昇のため、8年ぶりに減産に踏み切ること合意したと報じられた。このことにより、今後原油価格が上がれば軽油、ガソリン、灯油が値上がりし、収益状況に影響を及ぼすのではないかと思われる。

広島県ロジネット協同組合

11月の荷動きは、昨年同様、堅調であった。12月の繁忙期に向け、月末にかけて荷物は増加傾向にあり、30日がもっとも荷動きがあった。12月はクリスマス頃までは増加すると予想している。

インターネット販売による宅配便の増加、自動車工場の出荷や建設工事の増加も国内輸送に貢献したようである。

荷物が増加してくると潜在的なドライバー不足が影響し、12月はドライバー不足が深刻化しそうである。積極的で具体的な対策が必要になってくる。

軽油価格は10月最終週の3円/Lの値上げが国内に影響を及ぼし、11月は横ばいもしくは0.5円/Lの値下げで推移していたが、最終的には値上げとなった。世界的にはOPECでの減産合意も進んでおり、価格上昇の不安もある。業界としては価格安定で落ち着いてほしいところである。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。運賃、用船料の改善が見られない。

その他

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

今月は公的評価報酬がないかわりに、一般評価報酬が増加したため、売上、収益状況等に前月比変化なしとなった。前年同月比も特段変化は見られない。